

## 児童発達支援 支援プログラム

作成日 2025年3月1日

事業所理念		発達支援を通して お子さんご家族に そして地域に その子らしい成長と ほっとする安心と たくさんの笑顔	
支援方針		発達支援ルーム にこっとは、①お子さまへの発達支援、②家族支援、③地域支援を、3つの柱としています。 ・発達と子育てを支援する専門スタッフが、教室全体でチームを組み、互いに学び合いながら成長を目指します。 ・支援の提供にあたっては、特定の考え方に縛られずに、1人ひとりのお子さまにとって、グループのお子さまにとって、より良いアプローチを組み合わせながらプログラムを作成し、提供します。 ・専門的なねらいのある遊びや課題が、楽しさや喜び、達成感のある活動となるよう常に創意工夫し、より良い療育を目指します。 ・ご家族の方に、常に親身になって寄り添いながら、専門的な視点で子育てへの相談を行います。 ・安心感とあたたかさを感じられ、お子さまご家族と一緒にたくさんの笑顔が生まれる教室を目指します。	
営業時間		9:30~17:00 (12:00~13:00は除く)	送迎 : なし 保護者 : 同伴・見学
支援内容			
本人支援	健康・生活	・日々の健康状態の確認を行います。そして、ご家族との情報共有や相談を通して、一緒に健康状態の維持や向上、生活習慣や基本的な生活スキルの獲得につなげます。 ・安心できる分かりやすい環境設定や、見通しをもって自主的に行動するための手立ての工夫を検討します。 ・ご希望や必要性に応じて、作業療法士や保育士による専門相談をご提案します。	
	運動・感覚	・個別の運動・作業プログラムや、小集団での運動・音楽・遊びを通して、さまざまな姿勢、運動、動作、身体の使い方を経験する機会を作り、楽しみながら日常生活に必要な運動の力を伸ばします。 ・運動機能や感覚特性をアセスメントし、理解と配慮をしながらスモールステップで運動・感覚遊びを提供します。 ・さまざまな製作や遊びを通して、手先の巧緻性や道具の操作性を高めます。	
	認知・行動	・発達の特性を客観的にアセスメントし、適切な支援につなげるために、発達検査等を実施します。結果は、ご家族へ報告するとともに、今後の支援や相談、園連携に活かします。 ・認知の特性を把握した上で、様々な遊びや課題を活用して、空間や時間、数などの概念形成を成長を促します。また視覚的・聴覚的な情報、周囲の環境に対する認知力の向上を通して、行動の調整や気持ちの切り替えを支援します。 ・行動の背景にあるお子さまの困り感や苦手さを的確にとらえ、より好ましい行動や表現へとつなげます。	
	言語 コミュニケーション	・伝え合うことが楽しい、うれしいという体験を積み重ねます。お子さまの言語発達の段階に合わせた遊びや課題を通して、やりとりへの意欲、言葉の知識、言葉の表出、より上手にわかりやすく伝える文章表現などを育みます。 ・また、大人からの受容的・共感的な言葉かけや働きかけにより、コミュニケーション手段としての言葉を広げます。 ・ひらがななどの文字を学ぶことを通して、言葉への理解や整理を深めるとともに、就学への意欲を高めます。 ・希望や必要性に応じて、言語聴覚士による専門相談や言語訓練をご提案します。	
	人間関係 社会性	・ご家族やスタッフ、先生方と、信頼や安心、愛着を感じられる対人関係を築きます。お子さま自身の気持ちや興味関心を尊重しながら、関わり合うこと、分かち合うこと、新しいことが分かることへの充実感を得られる体験を積み重ねます。 ・ふれあい遊びや手遊び、見立て遊び、ルールや勝敗のあるゲーム、集団遊びなどを通して社会性の発達を支援します。 ・グループ活動においては、友達との関わり方、自分と相手の気持ち、自己理解や他者理解、集団活動のルールなどを理解することを促し、考えて取り組む機会のなかで、集団活動や集団生活でのスムーズな参加や活躍へとつなげます。	
家族支援	・毎回の療育の見学をしていただき、終了後に必ず振り返りの面談を実施します。お子さまの発達状況や特性、その時々課題や対応方法を相談・共有することで、ご家族が安心して、見通しをもって子育てできるように支援します。また、ご希望に応じて専門相談を行います。 ・ペアレントプログラムを年に1回開催します。	地域支援・ 地域連携	・保育園・幼稚園・子供園などの所属園への連絡・訪問を行い、お子さまの情報を確認し、支援方針の相談と共有を行います。 ・区の関係機関、相談支援事業所や他の療育機関との情報共有や支援の連携を行います。
移行支援	・ご家族に、就園・就学に向けたご相談や情報提供を行います。 ・就学支援シート等の資料作成や共有をします。 ・移行先との情報共有や連携を行います。	職員の質の 向上	・教室内・法人内研修を定期的実施すると共に、日々の療育の振り返りをチームで行うことで、相互に学び合う機会を積み重ねます。 ・法定研修の実施、外部研修の参加(補助制度)
主な行事等	季節に合わせて、お子さまが楽しめるプログラムや活動、製作などを行います。また、避難訓練・防災訓練を実施します。		